

第211回 全経簿記検定試験 上級 一工業簿記一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題1〔予想配点：丸数字は点数を示す、合計42点〕

問1

等級製品Xの正常減損費〔 ④ 18,600 〕円

等級製品Yの正常減損費〔 ④ 29,400 〕円

問2

等級製品X 完成品原価〔 ② 1,793,205 〕円 月末仕掛品原価〔 ③ 82,530 〕円

等級製品Y 完成品原価〔 ② 1,698,624 〕円 月末仕掛品原価〔 ③ 66,456 〕円

問3

等級製品X当月製造費用 直接材料費〔 ③ 1,185,500 〕円 加工費〔 ③ 691,350 〕円

等級製品Y当月製造費用 直接材料費〔 ③ 1,166,000 〕円 加工費〔 ③ 530,580 〕円

問4 ④

借 方	金 額	貸 方	金 額
異 常 減 損 費	39,465	仕 掛 品	39,465

問5

正常減損は、正常な状態を前提に製造活動を行う過程で不可避免的に発生した減損をいう。したがって、正常減損費は原価の要件である正常性の観点より、良品の製造原価に含まれる。③

問題2〔予想配点：丸数字は点数を示す、合計58点〕

問1 基準操業度〔 ④ 62,400 〕時間

問2 変動費率〔 ③ 110 〕円/時間 固定費〔 ③ 1,037,000 〕円

問3 予定配賦率〔 ④ 600 〕円/時間

問4

	No. 1	No. 2	No. 3	No. 1-R	No. 2-R
直接材料費	〔 1,800,000 〕	〔 360,000 〕	〔 ④1,656,000 〕	〔 96,000 〕	〔 840,000 〕
直接労務費	〔 ④1,458,000 〕	〔 432,000 〕	〔 1,274,400 〕	〔 ④ 129,600 〕	〔 1,782,000 〕
製造間接費	〔 810,000 〕	〔 240,000 〕	〔 ④ 708,000 〕	〔 72,000 〕	〔 ④ 990,000 〕
作業屑売却益	—	—	〔 Δ25,000 〕	—	—
仕損売却益	—	〔 ④Δ145,000 〕	—	—	—
仕損費振替	〔 297,600 〕	〔 Δ887,000 〕	—	〔 Δ297,600 〕	〔 ④ 887,000 〕
合計	〔 4,365,600 〕	〔 0 〕	〔 3,613,400 〕	〔 0 〕	〔 4,499,000 〕

\*マイナスには△をつけること。

問5

製造間接費

諸口	〔 3,280,000 〕	予定配賦額	〔 ④ 2,820,000 〕
予算差異	〔 — 〕	予算差異	〔 ③ 250,000 〕
操業度差異	〔 — 〕	操業度差異	〔 ③ 210,000 〕

問6

平均操業度の場合に生じる操業度差異は、単なる平均操業度と実際操業度の隔たりに過ぎない

が、実際の生産能力の場合に生じる操業度差異は、生産能力を遊休状態にしたために生じる異常

な操業度差異を意味する。⑥